

心をひとつに

大阪市立東陽中学校
第3学年 学年通信
令和3年2月9日
私立入試直前特別号

いよいよ私立入試が明日になりました。入試に向けてこれまで準備してきたことだと思います。今までやってきたことをしっかりと発揮することが大切になります。明日に向けての準備を確認したいと思います。



前日の準備

特別に早く寝る必要はありません。起床時間から逆算して7, 8時間の睡眠が取れるようにしましょう。早く寝なければとあせっても余計に眠れないことがあります。それよりも気持ちをゆったりして心と体（脳）を休めるようにしましょう。休む前に必ず明日の準備を確認しておくことを忘れずに。

1. 前日の確認

制服 ネクタイ、リボン、名札、ボタンなど。

防寒着の準備もしておこう

持参品 サブバッグに準備する。

- 受験票（生徒手帳に受験番号をひかえておく）
- 鉛筆、シャーペン（各数本、替芯）、消しゴム
- 定規、コンパス（各要項を確認しておく）
- ハンカチ、ちり紙、時計、携帯用カイロなど
- 交通費（万一のことを考えて少し余分に持っていく）
- 電話代

上履き、昼食、水筒、など各学校によって準備物は異なるので、各自確認しておくこと。**携帯電話は絶対に持っていない**

2. 『生徒募集要項』『受験注意事項』にもう一度目を通しておこう。

- 学校までの交通機関と時刻表、所要時間などを再確認

3. 友達と確認しておく事項

同一校受験者で一緒にいく場合は次のことを決めておきましょう。

- 待ち合わせ場所 はっきりわかる場所にすること。
- 待ち合わせ時間 「この時間までに来ない場合は先に行く」という約束をしておくこと。いつまでも待っていたら遅刻することがあります。

試験当日の朝

1. 早めに起きる。（脳が活発に働くまでに2時間はかかります。）
2. 必ず朝食をとる。（消化のよい物を腹八分目）
3. トイレもしっかり済ませておく。
4. 受験校には指定の集合時間の30分前には到着するようにする。
通勤、通学時間と重なることを考えて出発しよう。

緊急事態が発生したら

1. 急病やその他で会場に行けない！⇒あわてずに、すぐに中学校まで電話しよう。学校で適切な対応をします。
2. 受験票を忘れた！⇒無理に取りに帰らない。高校の先生に申し出て指示をあおぐように。
3. 万一、遅刻したら⇒高校の先生に申し出て指示に従う。
（遅刻しそうな場合、中学校にも電話連絡する）
4. 試験中に気分が悪くなったら⇒監督の先生にすみやかに申し出る。



答案を書く時の注意

- 1 問題用紙が配られたら、最初に枚数、解答用紙、時間を確認する。
- 2 『はじめ』の合図で鉛筆を持ち、最初に受験番号、氏名、などを記入する。あわててとりかからずに、問題全体にざっと目を通し、できそうな問題からかかる。
- 3 文字はていねいに楷書ではっきりと書く。うすい文字や小さい文字で書かない。だれが見てもわかるように枠内にはっきり書く。
- 4 時間配分を考えて、ひとつの問題に時間をとられすぎないように気をつける。他の問題に時間が足りなくなって、大量の得点を失うことになる。
- 5 問題の指示を正確につかむ。
 1. 記号なのか、言葉なのか。
 2. 抜き出すのか、まとめるのか。
 3. 英語で答えるのか、日本語で答えるのか。
 4. 文字数は合っているか。
 5. 単位はいるのか、いらぬのか。
- 6 慎重に！わかったと思って早合点すると、思わぬミスをすることがある。落ち着いて問題をよく読むこと。
- 7 必要なこと以外は書かない。減点される可能性大。
- 8 不正行為や紛らわしい行為は一切しない。よそ見をする、ものの貸し借り、ポケットや机の中を探るなどしない。注意されなくても、受験番号を控えられている。
- 9 難しい問題は自分だけでなく誰もが難しいから悩むことはない。次の科目を頑張ろう。



最後に

- ・ 周囲にいる受験生がみんな秀才に見えたり、テストの解答について話しているのを聞いて不安になったりしがちですが、他人のことを気にせず、自信を持って落ち着いて取り組みましょう。
- ・ 家を出てから帰り着くまで、間違いが起らないように自分の行動には責任を持ってください。あなただけでなく、友達にまで迷惑がかかります。
- ・ これまでの努力はあなたに必ずよい結果をもたらしてくれます。**最後まで、あきらめず、自信を持ってがんばりましょう！**

